

今日から3日間、6年生は群馬県の赤城方面に移動教室に行っています。移動教室というのは、学校から離れてみんなで同じところに泊まっていろいろなこと体験し学ぶことです。皆さんも6年になったら行きますので、楽しみにしてくださいね。校長先生も一緒に行っていますので、今日は、私が話をします。

さて、来週7月3日に新しいデザインになって使われ始めるものがあります。皆さんは何かわかりますか。それはお札です。一万円札、五千円札、千円札のデザインが新しくなります。今日はそのうちの五千円札についてお話をします。



新 5 千円札の表には「津田梅子」さんが描かれています。どんなことをした **<津田梅子>**

人かという、津田梅子さんは、女性として日本で初めて外国に行って勉強した人です。1年生と同じ年の6歳でアメリカに行って勉強し、17歳で日本に帰って来ました。今からおおよそ150年前です。明治時代の日本は、女の人が学校に行って学問をすることはめずらしいことで、女の人のための学校はあまりありませんでした。津田梅子さんは、男性と対等に力を発揮できる女性の育成を目指し、女子英学塾を創設しました。そして、女性が自立し社会で活躍できるように熱心に教育しました。現在、男女関係なく同じように教育を受けることができたり、男女関係なく社会で活躍することができたりするのは、津田梅子さんがアメリカで学んだことを生涯かけて日本で行ったからだと思います。西東京市のお隣の小平市に「津田塾大学」があります。それは津田梅子さんが開設した学校です。ここから車で20分くらいでしょうか。皆さんの身近なところに津田梅子さんが女性の教育に生涯を捧げた学校があります。この他に、新一万円札の顔は渋沢栄一さん、新千円札の顔は北里柴三郎さんです。図書室にも本がありますので、何をした人なのか、ぜひ、調べてみてください。

今日は、新五千円札の顔 津田梅子さんについて話しました。これで朝会話を終わります。